

海岸防災工学

Coastal/Maritime Disaster Lab



研究室紹介

防災研究所/DPRI

沿岸災害研究分野

<http://www.coast.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

2017年バージョン



Main Target

沿岸災害ハザードの長期評価

Long-Term Assessment of Coastal Hazards

Philosophy

すぐには役に立たないが10年後に社会貢献

Looking 10 years future



Tsunami



Wave



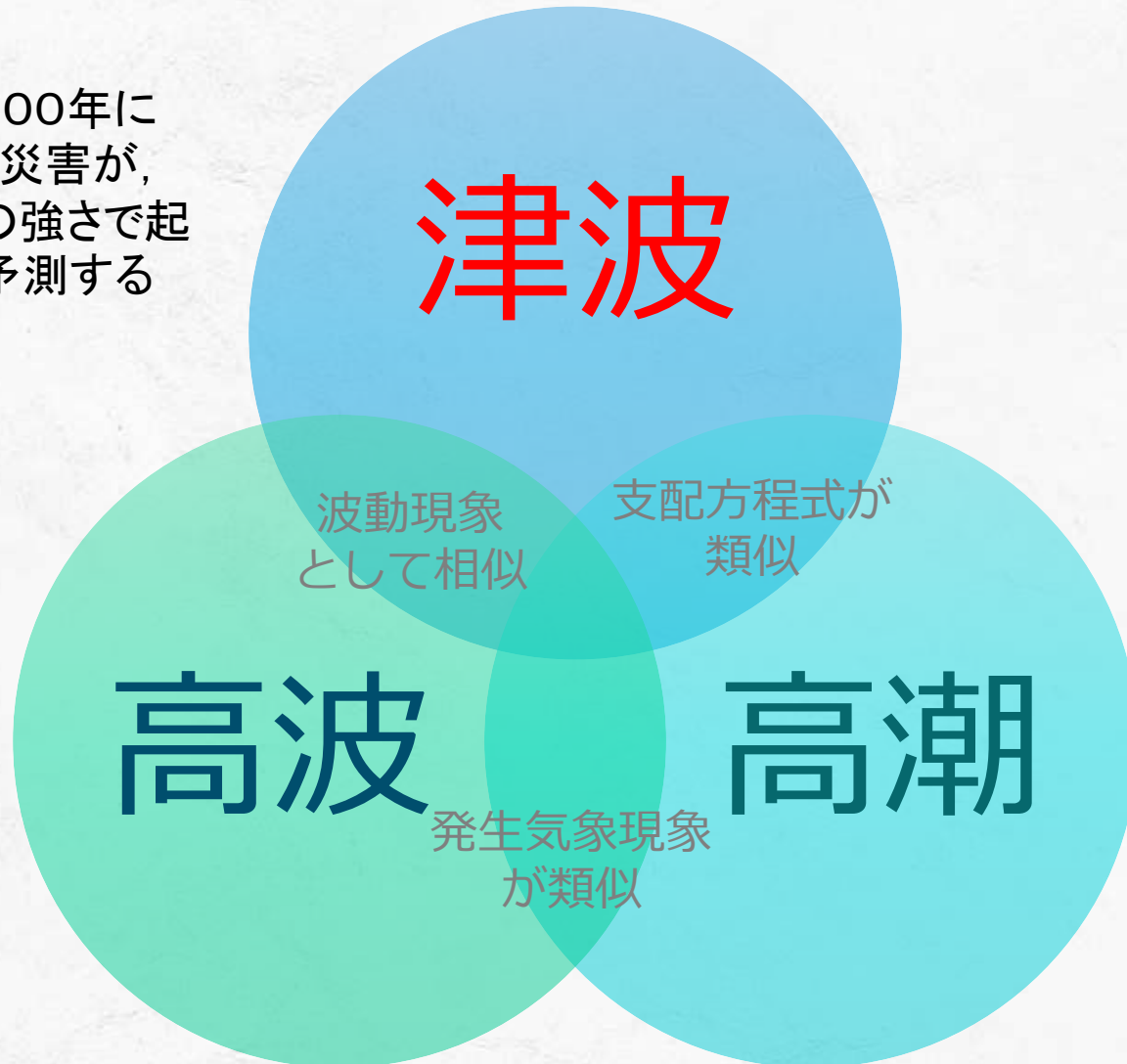
Storm
Surge



大テーマ 沿岸災害から国土を守る



100年, 1000年に
一度の沿岸災害が,
何処で, どの強さで起
こるのかを予測する



連絡先

www.coast.dpri.kyoto-u.ac.jp

lab@oceanwave.jp

E-206D (Student Room)

海の研究をしたい人
E-206Dを覗いて下さい

We want you for coastal research

Lab Location: E-201D~E-210D



E棟 3F→2F

- ・エレベーター 3基
- ・階段 3箇所

それぞれ **1** つが正解

Steps

Here

Shuttle
Bus

JR/Keihan Station

メンバー：Y2017



- 所属

- 社会基盤工学専攻
海岸防災工学
- 防災研究所
沿岸災害研究分野

- 教職員

- 特任教授 間瀬 肇
- 准教授 森 信人
- 秘書 神崎, 吉村
- JSPS研究員
Kamranzad
- **PD (2~3名)**
- 特定助教 志村智也 (協力)

- 学生

- D3 Yang
- D2 今井
- D1 宮下
- M2 有吉, 山本
- M1 千綿, 福井

- **B4**

?



- その他

- 7 – 8月
Kennedy先生
(Norte Dam大学)

* 女性

* 今年度募集



来年度の配属は1名

3月末で間瀬先生が退職するので

研究室の特徴



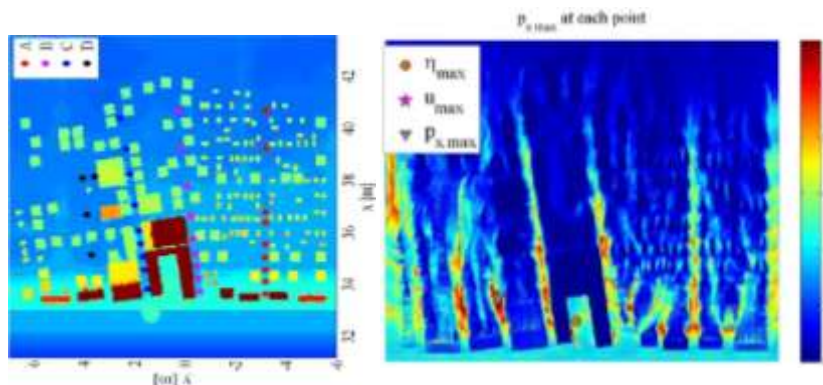
- キロ～メソスケール（1-1000km程度）の沿岸災害の科学と工学的応用を扱います.
- 科学と工学をつなぐ自然現象の理解とその応用に力を入れています.
- 10年後に役に立つ世界を代表する研究を目指しています.

津波評価

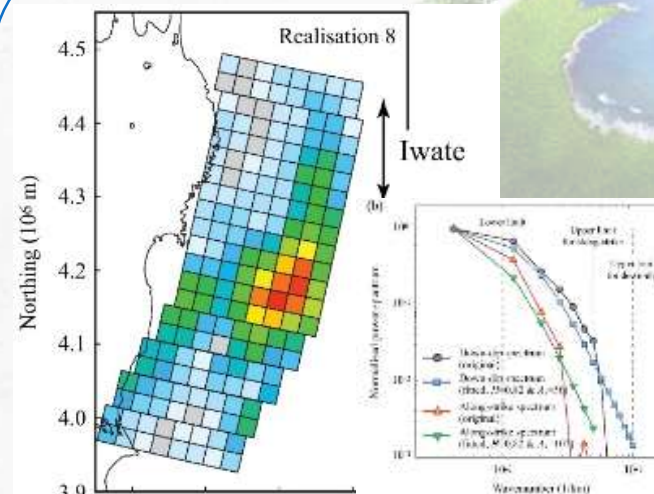
断層から陸上までのリスクを評価



3. 氾濫・被害の不確実性評価

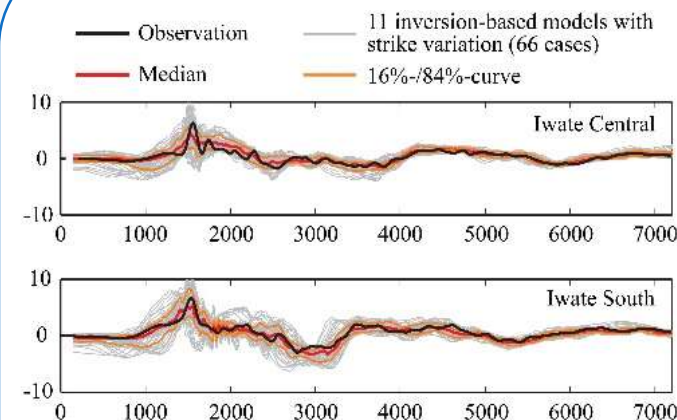


1. 波源の不確実性評価



確率断層モデル

2. 津波波高の不確実性評価



津波伝播モデル

地球温暖化の沿岸影響評価

21世紀末の日本を予測する

外力評価

高潮

波浪

海面上昇

影響評価

砂浜・干
潟

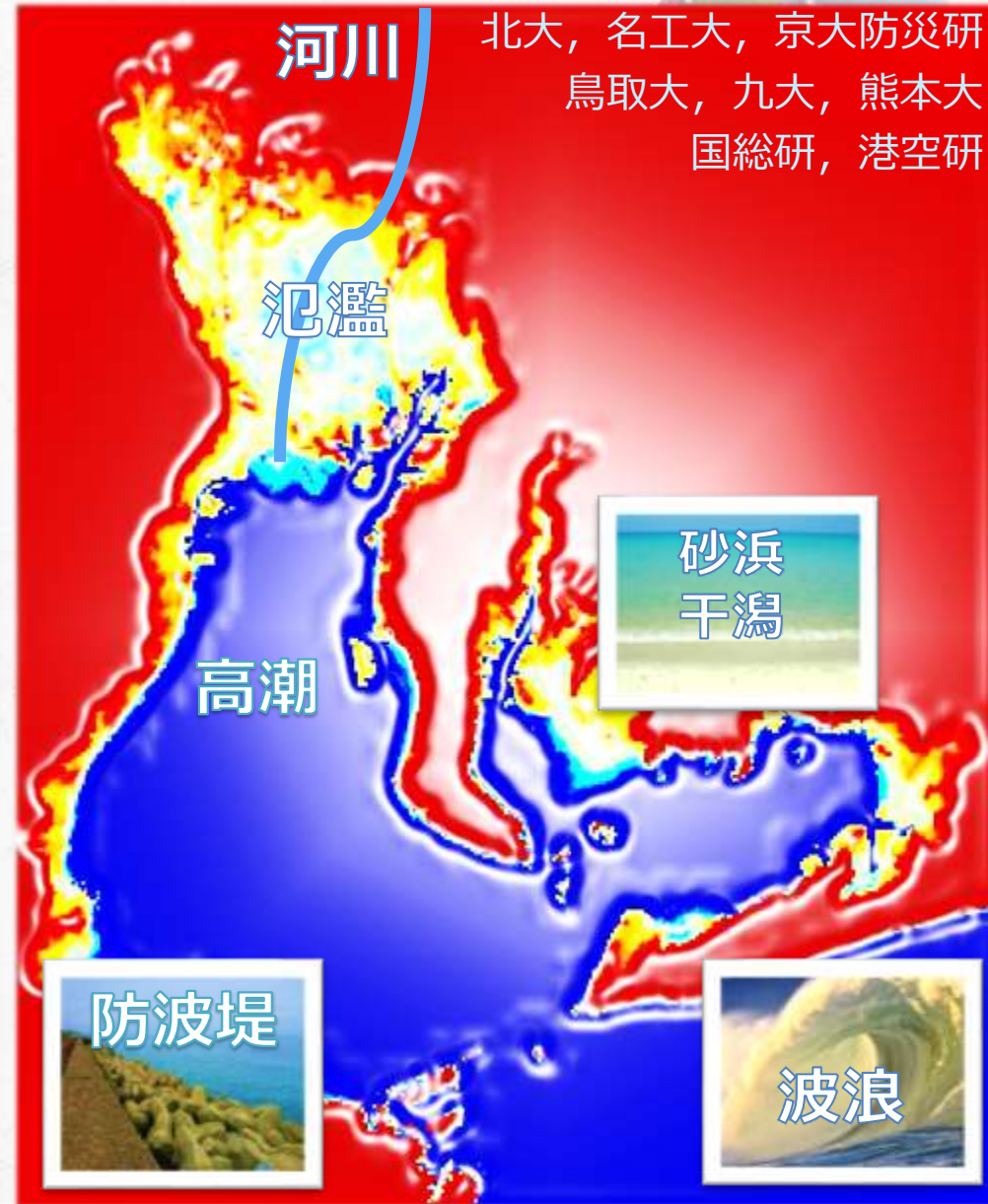
海岸構造
物

氾濫

社会影響・適応策

ライフサイク
ルコスト

経済価値



求める人物像



- 海に興味がある人
- やる気がある人
- (2017) 1 人でも生きられる意志の強い人

研究成果

- 研究室のWebを見てください
 - <http://www.coast.dpri.kyoto-u.ac.jp/japanese/>

おわり

- その他セールスポイント

- 駅に近い, 連絡バス乗り場正面, コンビニに近い
- 海に行くだけで研究と言い張れる
- 何と言っても

- 共同研究先

- 先進国, 東アジア
- 南の方

